

かお・人インタビュー

2013年11月29日(金)

インタビュー

平井秀輝 国土交通省 九州地方整備局企画部長

地域の声に真摯に対応する相談役に

赴任して数か月が過ぎ、九州の人たちは非常に人柄もよく実直な人が多いことを感じています。また、魚・野菜などの地元食材が美味しく単身赴任の私にとって有り難いと実感しています。この恵まれた環境の中で仕事ができることをうれしく思い、エンドユーザーの顔を浮かべながら仕事に打ち込みたいと初めての九州勤務で率直に話す平井部長に抱負や課題などをお尋ねした。



◎九州勤務における抱負は

まず品質の確保です。少子高齢化の中で、インフラやシステムを利用する高齢者が多いことも課題ではあります、安心して暮らせる国土で良質な社会資本を提供するには、例年劣化が激しい構造物などの良質な質の確保と欠落の無い維持が必要であり、国や地方自治体施設の品質確保も緊急課題、特に施設の老朽化対策支援は点検する技術力を含んだシステム支援整備が喫緊の課題です。このような地域の切実な声に真摯に応えられる体制の構築を目指していきたい。また、今回の伊豆大島もそうですが10年前の降雨量とは違う近年の異常気象と南海トラフ地震による津波対策等での地域や産学官を含めた九州防災力のアップも図っていききたいと考えます。

そして建設業に関しては、新燃岳等の噴火対策、口蹄疫、鳥インフルエンザ対策活動など防災を含めた地域貢献や社会資本整備は、地域にある建設業があつてこそ成りえるものです。地域貢献が適正に評価されるシステムを構築し、社会のなかで建設業界の役割・位置をメッセージしていきたいので、私自身がこれらの環境を整備するために地域の声を聞くための黒子として「よろず相談窓口」になる

気持ちで前に進めたい。公共事業は、使いやすい国土を管理する一環として各事業を推進していき、変化する時代に合った調達方法で品質の確保も図りたい。

◎建設事業の課題、展望は

近々での復旧は進んでいる九州北部豪雨災害からの復興です。また、東九州自動車道の道路ネットワーク整備促進です。避難・緊急道路としてや交流・物流の新たな産業支援となりうる道路整備が遅れています。北九州から宮崎までの完成予定は平成27年度ですが、少しでも早めの供用開始を目指していきたいと思っています。また、東アジアの玄関口としての貿易や交流の拡大、地域産業の成長戦略などを支援する港湾整備にも力を入れていきたい。

◎これまでの仕事での思い出は

本省治水課の河川整備調整官勤務時におきた、鹿児島県北薩豪雨(平成18年)が川内川の激甚災害対策特別緊急事業になり、財務省と予算を確保する調整官の立場で携わり早急の復興を願った結果、困難な激特事業がわずか5年間で完成していることを着任してから報告を受け感激し、九州の関係者皆さんのパワー(地域の総合力)と熱意に感動した。

◎趣味・好きな言葉は

趣味のジョキングやジムに通い体力作りに励んでいます。仕事上で好きな言葉は、「理にかなっているか」「情があるか」「法律に沿っているか」の「理・情・法」



プロフィール

昭和61年東京大学大学院工学系研究科土木工学専門課程修了後、建設省(現国土交通省)に入省、河川局に勤務後、英国環境運輸地域局、国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所長、同総合政策局事業総括調整官、内閣官房内閣参事官では安全保障・危機管理を担当し本年7月に着任。埼玉県出身で現在53歳。

入札情報	企業情報
工事成績	民間情報
福岡県内の欲しい情報 知りたい情報がわかる	
無料体験実施中	
まずはお試し下さい。	
建設ナビ福岡無料体験申込	